

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2370301315
事業所名	生協あじまの家グループホーム

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会に加入、地域情報を、回覧板などから得ている。散歩時など、住民の方、行き交う人などに、声掛け、挨拶などして、交流を深めている。地域の、小中学校、保育園（運動会への参加、実習の受け入れ、展覧会への訪問、来所での交流）などの交流がある。施設の夏祭りには、地域の方の参加を呼びかけ（ピラや、組合機関誌などでの広報）交流を深めている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	地域代表、いきいき支援センター、地域代表、家族代表が参加し、施設職員との状況報告ヒヤリハット報告、運営への相談、検討を、行っている。施設の取組み、介護書類、ケア技術の方法、認知症などの勉強会等、詳細にわたる報告がある。検討結果から、実践（他施設との交流、ボランティアの募集など）がある。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	日常的な、相談、報告を、担当課へ随時行い、情報共有、事故などに関する報告、相談など、連絡、協力関係を作っている。市の研修（実践者研修、初任者研修など）に参加し、職員への共有をしている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族会を、年3回行い、行事、運営への協力、情報共有、家族の要望の収集を図っている。毎月、家族あての「個別のホーム便り」を発行し、行事や、状況報告を、また家族からの声の収集をしている。日々のケアの中から、利用者の意見要望を吸い上げ、ケアに反映している。家族訪問時を利用し、情報共有、意見要望の把握、ケアにつなげている。意見箱の設置がある。	○
重点項目⑤		評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○	○	○	○